

市大を志望する皆さんへ

芸術学部

Faculty of ARTS



自信を持って挑む

芸術学部 デザイン工芸学科 1年
かわぐち しょうん
川口 春

私は高校1年生の時から市大の芸術学部に行きたいと考えていました。高校1年生の夏休みには油絵専攻のサマースクールに参加し、高校3年生の時には卒業作品展を見に行ったり、サマースクールでデッサンの指導をしてもらいました。市大にはこのような一般の人も参加することができる企画が多くあり、教授から専門的な指導やアドバイスを受けることができる機会があります。

私が受験の際に意識していたのは「自分に自信を持つ」ということです。自信があると自分自身と自分の作品が大好きになり、受験にも自信を持って挑むことができます。その自信を持てるようになるために、2つアドバイスをします。

1つ目は、とにかく自分が興味・関心を少しでも持ったものにはすぐに取り掛かってください。やらずに後悔するよりやってみるの方が「自分はこんなことができた」「こんなことをやった」という自信につながります。

2つ目は、とにかく自分の良いところだけを見てください。「とにかく自分は最強だ」と思い込んで、制作に取り組んでみてください。受験期は、勉強量やデッサンのうまさなどを人と比べてしまいがちになります。比べてときに「何があのひとと違って悪いのだろうか?」と考えるのではなく「どこがあのひとと違って、自分らしいのか?」と考えるようにしてみてください。その違いが自分の強みとなり自信につながります。

受験に最後まで自信を持って挑んでください。



*写真は撮影のためにマスクを外しています。

国際学部

Faculty of INTERNATIONAL STUDIES



理想の自分へまっすぐに

国際学部 国際学科 1年
ほんのし りょう
本橋 洸

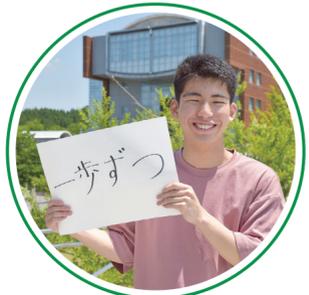
市大の国際学部の強みは、第二言語の選択肢が多いことと、5つの教育プログラムにあると思います。第二言語は、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、ロシア語、中国語、ハンガルの8つから選択できます。語学だけでなく、その言語の使われる地域の文化や慣習を学ぶことができ、さまざまな価値観や考え方に触れることができます。また、教育プログラムは、国際政治・平和、多文化共生、言語・コミュニケーション、公共政策・NPO、国際ビジネスがあります。学生それぞれの興味・関心や将来設計に応じて専門領域を深く学んだり、複数のプログラムを横断して受講することができます。将来就きたい職業がはっきりしていない受験生は多いと思いますが、学びの選択肢が多い学部であるため、将来にしっかり生きてくると思います。

次に、私なりの受験のアドバイスをします。一番大切なのはメンタルです。写真の言葉は、私が小学生の頃に所属していたソフトバレーボールのチームの横断幕にあった言葉です。私は、前期試験で他の大学を受験し、昔から苦手だった数学がどうしても克服できず落ちました。試験が終わってすぐ、自分には向いてなかったと思えたので、すぐに後期の市大の試験に気持ちを切り替えることができました。また、受験は早く終わってほしいと思うほど長く感じますが、目の前にある自分の課題を着実に減らしていくのがベストです。頑張っていれば、遅かれ早かれ結果は付いていきます。それまで我慢です。苦しい時期になると思いますが、プレずに頑張ってください。



情報科学部

Faculty of INFORMATION SCIENCES



心の中にあるちっぽけな理想や夢を現実に

情報科学部 1年
かわのし ひかる
河野 光

受験生の皆さんに一つ質問があります。「何のために受験勉強をしているのでしょうか?」

今はまだ夢が無いという人は多くいるのではないのでしょうか。しかし、美術は好きだな、数学は成績を見ると得意なのかもしれない、英語を話せるようになりたい、など今の学校生活の中でも感じることもあると思います。実はそれが夢への第一歩なのです。

受験勉強というのは自分が何に興味があるのかを探す、将来に向けた大事な準備です。受験勉強を通じて自分の夢を見つけるきっかけにしてほしいです。そして、ぼんやりと心に抱く、誰にも言えないような理想や夢を現実に変えていく場所の一つの選択肢として市大のような大学があります。市大では自分のしたいことを応援してくれる支援がたくさんあります。とにかく自由にやりたいことができる場所です。

今、受験勉強をしていて辛いと感じていることでしょうか。それは当然のことです。辛いと感じた時に、上の質問を自分なりに考えてみてください。きっと頑張る力が湧いてきます。最後に「最後まで諦めない」ということを伝えます。僕は前期試験で不合格でしたが、諦めずに粘ったからこそ、合格できました。「諦めたらそこで試合終了」ですから。



CLUBS & CIRCLES



いちだい猫の会

こんにちは、いちだい猫の会です! 皆さん、広島市立大学には猫がいるってご存知ですか? 人に捨てられたり、野良で生まれたりした猫たちが市大に流れ着き、日々を過ごしています。私たちは、そんな猫たちを保護し、人間と猫が共存できる環境づくりをしています。

普段は曜日ごとに班を組んで、毎日お昼に餌やりと健康観察を行っています。他にも、怪我をしたり病気になったりした猫が確認された場合には、動物病院に連れていき診察してもらい、新しい猫が現れた場合には、里親探しや去勢手術もしています。そして一年に一度のビッグイベント、大学祭では猫カフェや猫雑貨の販売で出店しています。

サークルメンバー一同、生粋の猫好きばかりです。学年や学部の垣根を越えて猫好きが集い、猫について話したり、猫を愛でたりとにゃんばす(キャンパス)ライブを満喫しております。猫を愛する皆さん、まずはTwitterでご紹介している猫たちに会いに来てください!

Johanna Sofia Behrendt

I first heard about the cat club of Hiroshima City University back in Germany from a student who had studied here before. When I learned that I was finally able to come to this university, I knew for certain that I wanted to join this club. It's great to see the enthusiasm with which the students feed and take care of cats on campus every day, who would otherwise have no home and nobody to look after them.



SNS
Instagram: hcu_cats
Twitter: @hucats

広島市立大学の公認クラブ・サークルの活動内容は多種多様で、定番のクラブ・サークルに加えて、ボランティア活動、平和活動、そして創作活動など、ユニークな活動を行う団体があります。ここでは留学生も所属して活動している3つの「クラブ・サークル」をご紹介します。また、留学生から所属するクラブ・サークルの魅力についてメッセージをいただきました。自分の可能性を広げるとともに、学部・学年・学内外などの枠を越えて、新たな「つながり」を作りましょう!



MAC 電音

こんにちは、MAC 電音です! 私たちは現在1~4年生、大学院生や留学生まで総勢100人近くで活動しています。活動日は特に決まっておらず、各バンドや個人でライブ当日に向けて日々練習しています。ライブを作り上げていくに当たって、まずは楽器の演奏、照明やVJ(背景)などの演出、そして音響関係などさまざまな役割が必要となります。コロナ禍でここ1、2年間はイベントの数が減っていましたが、最近では徐々に出来るイベントも増えて、ライブだけでなく合宿や交流会の計画も進めています。大学に入ってから音楽を始めたい人も多いため、音楽やライブの演出に興味がある方はぜひ声を掛けてみてください。一緒に盛り上げていきましょう!

Naldy Nirmanto Tjondronegoro (なっちゃん)

The Music & Arts Club, also known as MAC, is one of the active clubs, and has been run by students at Hiroshima City University for more than 20 years.

In this club, members from different genres such as J-pop, rock, hip hop, jazz, and others, give live performances together on various occasions.

One of the important traditions is that senior members give lessons and preparation for new members. At other times, all members also share their experiences and learn together.

Lastly, MAC members include not only Japanese students but also exchange students from different countries such as the United States, Korea, Germany, France, and Indonesia.

If you are interested in music and arts, you are welcome to join this club. Please come to have fun together! See you there!

SNS
Instagram: hcu_mac.denon
Twitter: @mac_denon



吹奏楽部

目に留めていただきありがとうございます! 吹奏楽部です。私たちは17人の仲間と共に、音楽活動を通じて充実した日々を楽しんでいます。

主に、シーズンごとの演奏会や外部からの依頼演奏といった本番に向けて練習しています。その中で、先輩後輩や学部、はたまた国籍に限らないつながりを築き、みんなで一つの目標に向かっていく時間は、かけがえのないものであり財産です。

大学生活は、多くの人にとって人生最後の学生生活となります。勉強だけでは物足りない。青春は自分で創り上げていくものです。自分だけの青春を、この吹奏楽部と一緒に見つけていきませんか? あなたが来てくれることを心待ちにしています。経験の有無に限らず、一緒に活動してくれる仲間を随時募集中!

気になることがあれば気軽にSNSにご連絡ください!

Liu Xiang

私が通っていた中国の小学校では楽器を演奏する授業が無かったので、リコーダーの練習をしたくて吹奏楽部に入ったら、リコーダーは吹かないと知って驚きました。音楽に関することを多く学ぶチャンスだと思い、今はサクソフーンを吹いています。近距離で合奏を聴くのが最高です。

Park Soohan

アニメ『響けユーフォニアム!』から吹奏楽に興味を持ち、昔フルートをやっていたので入部しましたが、フルートが自分一人だけで驚きました。ほぼ初心者なのに大事なパートを任されて緊張するけど、みんなで合奏するのが楽しくてたまりません。



SNS
Instagram: hcubrass
Twitter: @hcubrass

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

学ぶことに年齢制限はない、でも早い方がいい

医療法人社団葵会 広島平和クリニック 診療放射線技師(情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻3年) 佐々木 公さ

クリニックの診療放射線技師として働きながら、社会人学生として本学大学院で研究に取り組まれている佐々木さんにお話を伺いました。

一現在のお仕事について教えてください。

平和記念公園の近くにある広島平和クリニックで診療放射線技師として勤務しています。最近では漫画やテレビドラマにもなった「ラジオエーションハウス」の主人公の職種として知った人ものではないでしょうか。診療放射線技師になって27年目を迎えています。業務内容は主に画像診断装置であるCT(コンピュータ断層撮影)、MRI(磁気共鳴イメージング)、PET(陽電子放射断層撮影)の撮影と読影補助を行っています。

一社会人学生として市大大学院への進学を決めたきっかけ理由などを教えてください。

市大大学院進学以前にも細々と研究発表などは行っていました。しかし、学会発表だけでは自己満足で終わってしまいます。臨床で役に立つ研究をして多くの人にとってもらうために論文を書きたいと考えていましたが、大学を卒業して20年近く経っており、自分の力だけでは取り組むことさえできませんでした。そんな時、市大大学院に自分の専門である医用画像の研究を深められる医用情報科学専攻が発足されることを知り、入学を決意しました。

一取り組まれている研究について教えてください。

MRIについての研究をしています。MRIの中でも拡散MRIと呼ばれる分野の研究です。MRIは主に形態的な画像情報を得る画像法ですが、拡散MRIは、水分子の拡散を捉えることにより脳のミクロな構造や機能を描出することができます。目で見ることのできない情報を画像にできるところに、魅力を感じています。このような画像についてディープラーニングにより高精度化する手法を開発し、国内外の医学系の学会で発表してきました。その結果、日本磁気共鳴医学会の学術奨励賞を受賞することができました。

一大学院での研究がお仕事で生かされていることがあれば教えてください。

大学院での研究が直接臨床現場で生かされるには、さらに研究を進めていく必要があります。しかし、研究をする中で培われたデータを整理する力や文章を書く力などによって、仕事にも良い影響があると実感しています。これからも、業務の中で疑問に思っているこ

とや解決したいことなどを研究できればいいと考えています。

一仕事と研究はどのように両立されていますか。

広島平和クリニックが土日も診療しているため、平日に休みが取りやすい環境にあります。その休みの日を利用して、研究を行っています。おかげで自分の自由時間は少ないですが、何とか根性だけで仕事と研究を両立しています。しかも、私は3人(大学生、高校生、小学生)の子どもを育てている父親でもあります。いつも仕事や研究を優先してしまい、家庭がおろそかになっていて、家族には申し訳ないと思っています。ここ数年は家族に迷惑をかけてばかりなので、学位を取った晩には家族サービスに努めたいと思います。

一コロナ禍での生活を過ごしている後輩たちへ、アドバイスをお願いします。

コロナ禍で思い描いていた憧れの大学生活とは少し違った生活を送っている方が多いと思います。講義はともかく、サークル活動や遊ぶことに関して制限があるのは残念ですが、コロナ禍でできないこともあると思います。少しでも楽しい大学生活を送るために、精一杯の工夫をしてほしいと思います。

一最後に、後輩たちへメッセージをお願いします。

私は社会人になってから大学院で学ぶ機会を得ました。私のように歳を重ねてから学ぶこともできます。勉強することに遅過ぎることはない信じていますが、どうせ勉強するなら若いうちの方が、圧倒的に将来できることの選択幅が広がります。時間に余裕のある今だからこそ、遊びも学びも全力で取り組んでほしいです。そして、私が親の立場で強く言いたいのは、大変な苦勞をして、学費や生活費を援助しているのだから、どうか無駄な時間を過ごさないということです。市大という恵まれた環境の中で、何事にも一生懸命に取り組み、できるだけ多くの経験をしてください。一生懸命取り組んだことに無駄なことは一切ありません。



佐々木 公(ささき こう)
情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻3年
医療法人社団葵会 広島平和クリニック
診療放射線技師

写真でみる市大ライフ

本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」(学内限定)を開設しました。第11回となる今回は、「市大私のお気に入り」をテーマに写真を募集しました。このサイトに投稿された作品の中から、2022年2月、最優秀賞および優秀賞を決定しました。(※学年は受賞当時)



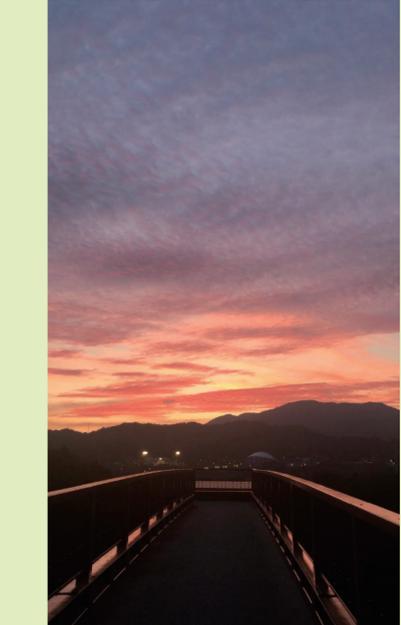
①透明になる少し前
福濱 大晃(芸術学部美術学科4年)

《優秀賞》



③研究の一息に
福吉 力(情報科学部システム工学科4年)

《優秀賞》



②秋の恋時間
瀧上 真愛(情報科学部1年)

《優秀賞》



④夏だー!
西本 夏野(情報科学部情報工学科3年)

学生レポート

この記事は、「学生広報サポーター」に登録している市大生らが取材をして執筆しました。

かんぶく 漢服研究会 端午節にワークショップを開催

国際学部国際学科2年 石黒 七海

情報科学研究科(博士前期課程)2年 久木 若菜

6月3日(金)に、広島市立大学学生会館において漢服研究会の端午節イベントが開催された。漢服研究会の発足は今年5月からで、部員数は12人ほどの新しい研究会である。この研究会では、中国人留学生だけでなく日本人も多く参加しており、異文化交流が盛んに行われている。

中国の端午節では、南方でドラゴンボートレースが開催されたり、粽(ちまき)を食べ厄除けとしてモミギの束などを飾ったりする風習がある。研究会の部員は、粽に使う笹の葉やナツメ、また中国の伝統衣装などを用意し今回の端午節に臨んだ。粽づくりは笹の葉を三角錐の形になるよう折り曲げ器にすることから始める。実際に体験してみたが、きれいな三角錐を作ることはなかなか難しい。器が完成するとその中にもちま、ナツメなどを敷き詰め、加熱の際に中身が溢れないよう紐できつく縛っておく。ここまでが一連の流れである。訪れた人は、一緒に粽づくりや中国の伝統的な結び紐である五彩紐づくりなどを体験し、「コロナウイルスでこうしたワークショップなどが開催されなかったので、来てみてよかった」と語った。

本学には多くの留学生が在学しているが、特に中国人留学生は、コロナ禍によるロックダウンで本国に帰国できなかった学生が多い。そのため、研究会部長の芸術学研究科(博士後期課程)3年の封帆さんは、日中での文化交流のみならず故郷に帰ることができない学生にも楽しんでもらえるように、このイベントを企画した。さらに、副部長の国際学部3年中嶋未歩さんは、「今回のイベントで中国文化を知ってくれる人が増え、日中友好の懸け橋になれば」と語った。

本学にはさまざまな留学プログラムがあり、特に短期の海外交流プログラムは初めての海外渡航におすすめです。私自身、1年生の時に海外交流プログラムに参加したことが、今回の留学の後押しとなりました。大学生は自由に使える時間が多く、どのような時間を費やすが重要です。学生生活で得た知識、体験が、自分のペースとなって今後の人生に関わってくると思います。留学に限らず、興味、関心のあることには積極的に挑戦し、実りのある学生生活にしてほしいです。

韓国・西京大学校
(海外学術交流協定大学への学生派遣)

国際学部国際学科4年 奥谷 眞子

私は、高校生の頃に初めて見た韓国ドラマをきっかけに、韓国に興味を持ち始めました。それまでは韓国に興味があつちなかった私。そんな私が留学することになるとは。たった一本の韓国ドラマが私を変えたのです。大学に入った、絶対に韓国に留学することに誓っていた私ですが、周りの友人たちは、「将来、韓国語を使った仕事をしたい」、「韓国で市場調査をしたい」などのカッコいい理由を持っている一方、私は「韓国が好きだから」という単純な理由だけでだったので、いざ留学する前に二足の足を踏んでいました。2022年3月、あきなみ芸術化構想の一環として広島市安佐南区役所に展示して、本学芸術学部学生と卒業生の入れ替えを行いました。2023年3月まで展示する予定ですので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。とても人見知りや家にもりもりきた私ですが、韓国では、積極的に話しかけサークル活動に参加したり、頻繁に外に出掛けたりしていました。それは「韓国が好きだから」という理由があったからだと実感しています。私は、留学には、カッコいい理由はなくとも、ただ「好き」という理由だけで十分だと思います。留学生活を通じて、韓国の友人もでき、行きたかった場所、食べたかった本場の韓国料理も全て満喫することができました。そして何より、留学する前よりも韓国のことが好きになっていきました。次の目標は、ワーキングホリデー制度で韓国に行くことです。皆さんも自分の好きなものを堂々と好きでいてください。そして、多くの人と出会って、行きたい国・地域に行ってみてください。「好き」が自分を変えてくれるはず!

訪れた人に粽の作り方を説明している様子

留学体験記

本学では海外学術交流協定大学との活発な交流・学生交換留学を推進しています。今回は半年間の留学を終えた2人から、体験記とこれから留学を考えている学生に向けてメッセージをいただきました。

ドイツ・ハノーバー専科大学
(海外学術交流協定大学への学生派遣)

異文化を体感する

情報科学研究科(博士前期課程)2年 久木 若菜

ハノーバー専科大学の講義では、現地の学生らが積極的に参加している姿勢が印象に残りました。自由に質問したり、自身の考えを共有したりして、理解を深めていました。また、他の留学生との交流も刺激的で、お互いの国の文化について話す、料理を振る舞ってもらうなど貴重な体験となりました。現地の生活では、公用語はドイツ語であるにも関わらず、特に若い方は英語で対応してくれることが多かったです。街の案内なども英独表記が多く、日本人も外国人が暮らしやすい環境だと思います。ハノーバーは治安の良い街ですが、街中にホームレスがいたり、お金を求められたりといったこともありました。

半年間の留学を終えて、自分の語学力が未熟であることを痛感しました。留学まで自分なりに学習してきたつもりでも、授業や日常生活に慣れるにはかなりの時間を要しました。今回の経験が無駄にならないよう、引き続き英語学習を続け、将来の選択肢を広げていきたいと思います。

本学にはさまざまな留学プログラムがあり、特に短期の海外交流プログラムは初めての海外渡航におすすめです。私自身、1年生の時に海外交流プログラムに参加したことが、今回の留学の後押しとなりました。大学生は自由に使える時間が多く、どのような時間を費やすが重要です。学生生活で得た知識、体験が、自分のペースとなって今後の人生に関わってくると思います。留学に限らず、興味、関心のあることには積極的に挑戦し、実りのある学生生活にしてほしいです。



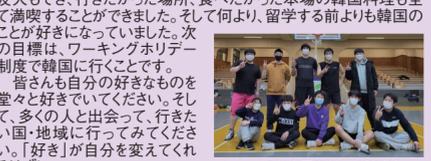
レストランにて

韓国・西京大学校
(海外学術交流協定大学への学生派遣)

「好き」から留学へ

国際学部国際学科4年 奥谷 眞子

私は、高校生の頃に初めて見た韓国ドラマをきっかけに、韓国に興味を持ち始めました。それまでは韓国に興味があつちなかった私。そんな私が留学することになるとは。たった一本の韓国ドラマが私を変えたのです。大学に入った、絶対に韓国に留学することに誓っていた私ですが、周りの友人たちは、「将来、韓国語を使った仕事をしたい」、「韓国で市場調査をしたい」などのカッコいい理由を持っている一方、私は「韓国が好きだから」という単純な理由だけでだったので、いざ留学する前に二足の足を踏んでいました。2022年3月、あきなみ芸術化構想の一環として広島市安佐南区役所に展示して、本学芸術学部学生と卒業生の入れ替えを行いました。2023年3月まで展示する予定ですので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。とても人見知りや家にもりもりきた私ですが、韓国では、積極的に話しかけサークル活動に参加したり、頻繁に外に出掛けたりしていました。それは「韓国が好きだから」という理由があったからだと実感しています。私は、留学には、カッコいい理由はなくとも、ただ「好き」という理由だけで十分だと思います。留学生活を通じて、韓国の友人もでき、行きたかった場所、食べたかった本場の韓国料理も全て満喫することができました。そして何より、留学する前よりも韓国のことが好きになっていきました。次の目標は、ワーキングホリデー制度で韓国に行くことです。皆さんも自分の好きなものを堂々と好きでいてください。そして、多くの人と出会って、行きたい国・地域に行ってみてください。「好き」が自分を変えてくれるはず!



サークルの集合写真(左下が奥谷さん)

👉おめでとうございます

■情報科学研究科と情報科学部の学生らが2021年度(第72回)電気・情報関連学会中国支部連合大会で受賞

2021年10月、情報科学研究科(博士前期課程)2年の藤原優希さんと秦裕裕さん、情報科学部情報工学専攻4年の伊井克海さんが「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」を受賞。

■芸術学部、芸術学研究科の学生らが第75回姫路市美術展で受賞

2022年2月、芸術学部美術学科3年の三坂日奈子さんが「姫路市教育委員会賞」、芸術学研究科(博士前期課程)1年の松井秋穂さんが「姫路市商工会議所会頭賞」を受賞。同研究科(博士後期課程)1年の影井享平さんが入選。

■情報科学研究科の学生が電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会で受賞

2022年2月、情報科学研究科(博士前期課程)1年の寺岡純さんが「電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会研究奨励賞」を受賞。

■芸術学部が瀬戸内風のマルシェ〜若手アーティストと育む海辺の街〜で入賞

2022年3月、芸術学部デザイン工芸科4年の浅井優人さんのお土産品のパッケージデザインが入賞。

■国際学部卒業生が2022年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)に合格

2022年3月、国際学部卒業生の堀屋佳音さんに合格。この留学学生の2022年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)に合格。この留学学生の2022年度海外留学支援制度による支援が行われ、堀屋さんは本学からの本制度合格者となります。

■情報科学研究科の学生が電子情報通信学会中国支部で受賞

2022年3月、情報科学研究科(博士前期課程)2年の森重玲生さんが電子情報通信学会中国支部より令和2年度、令和3年度の「学生功労賞」を受賞。

■情報科学研究科の教員の学術論文が、アメリカ化学会発行 The Journal of Physical Chemistry B誌のSupplementary Coverとして選出

2022年3月、情報科学研究科の齋藤謙講師と鷹野俊教授の学術論文が、アメリカ化学会発行 The Journal of Physical Chemistry B誌のSupplementary Coverとして選出。

■情報科学研究科の教員が広島テックプラングラプリで受賞

2022年3月、情報科学研究科の堀山朋子准教授のチーム「Ringles」が「トータ賞・日本ユニシスBIPROGY賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生がKDDI財団調査研究助成に採択

2022年3月、公益財団法人KDDI財団の2022年度調査研究助成に情報科学研究科(博士前期課程)2年の青木佳雄さんが採択。

■情報科学部の学生が第17回日本感性工学会春季大会で受賞

2022年4月、情報科学部システム工学科4年の谷田部達さんの論文が「優秀発表賞」を受賞。受賞論文の内容は、マツダとの共同研究成果である研究について。

■いちいちいのライアスロン2021年度コメント大賞表彰式を実施

2022年4月、附属図書館「いちこも」において、2021年度コメント大賞の表彰式を実施。

■芸術学部の学生が第50回伝統工芸日本金工展で受賞

2022年5月、第50回伝統工芸日本金工展の21+部門において、芸術学部デザイン工芸学科4年の河田亜里さんが「21+金工部会賞」を受賞。

※学年、後職は受賞当時

■2022年度 学年賞(後期)

後期(10月1日～3月31日)	
10月3日(月)	教入学式・後期授業開始
10月10日(月・スポーツの日)	月曜日の授業実施
10月29日(土)・30日(日)	大学祭
11月9日(木・文化の日)	木曜日の授業実施
11月7日(月)～11月18日(金)	補講週
11月21日(月)～11月25日(金)	第3ターム試験期間
11月23日(水・勤労感謝の日)	水曜日の授業・試験実施
11月25日(金)	防火・防災訓練の日
12月20日(火)	全学休業日
12月26日(月)～1月3日(火)	冬季休業
1月13日(金)	開学記念日の振替日
1月18日(水)～1月31日(火)	補講週
2月1日(水)～2月10日(金)	後期定期試験
2月11日(土)～3月31日(金)	学年末休業
3月23日(木)	春季卒業式

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる可能性があります。

📄表紙作品

2021年度 芸術学部デザイン工芸科 卒業 川本 実果
「海」(染織造形) (H.3,000×W.3,200×D.20mm) 2021年度 卒業制作
卒業制作優秀賞 芸術資料館賞上

👉「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 広報委員会
○E-mail: kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel: 082-830-1666 ○Fax: 082-830-1656
WEST BREEZEのバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌「WEST BREEZE」」に掲載しています。

広報誌名
広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。
編集・発行 / 広島市立大学 広報委員会
発行日 / 2022年8月1日